

商用目的の数次入国査証の発給の円滑化に関する日本国政府とブラジル連邦共和国政府との間の覚書

日本国政府及びブラジル連邦共和国政府は、

両国の友好関係を強化するとの両国の希望を考慮し、

両国の国民の間の接触を奨励し及び容易にすることを希望して、

それぞれの国の法令に従い、日本国における商用訪問者のための短期滞在査証及びブラジル連邦共和国における商用査証に関する次の措置をとり及び維持する意図を考慮して、

次の共通の認識に到達した。

1 (a) 日本側は、日本国に入国することを希望するブラジル国民の商用訪問者であって、継続して九十日を超えない期間、商用目的で一時的に滞在する意図を有するものに対して、日本側の定める条件により、最長三年間有効な数次入国査証を発給することができる。

(b) ブラジル側は、ブラジルに入国することを希望する日本国民の商用訪問者であって、最初の入国の日から、継続して年間九十日を超えない期間、商用目的で一時的に滞在する意図を有するものに対し

て、ブラジル側の定める条件により、最長三年間有効な数次入国査証を発給することができる。

2 (a) 日本側は、日本国の法令に従い、ブラジル国民の商用訪問者の日本国における最長の滞在期間を決定することができる。

(b) ブラジル側は、日本国民の商用訪問者がブラジルにおける滞在期間を更に九十日間更新することを許可することができる。この場合において、滞在期間の合計は、最長で年間百八十日となる。

3 双方は、申請日からできる限り速やかに当該査証申請を処理するよう努める。

4 前記の諸措置は、外交上の経路を通じて双方により相互に決定される日から実施される。

5 双方は、査証手続の更なる簡素化のための措置を検討するための協議を継続する。

二千十一年十一月二十八日にブラジリアで、日本語、ポルトガル語及び英語により、それぞれ原本二通に署名した。

日本国政府のために

ブラジル連邦共和国政府のために